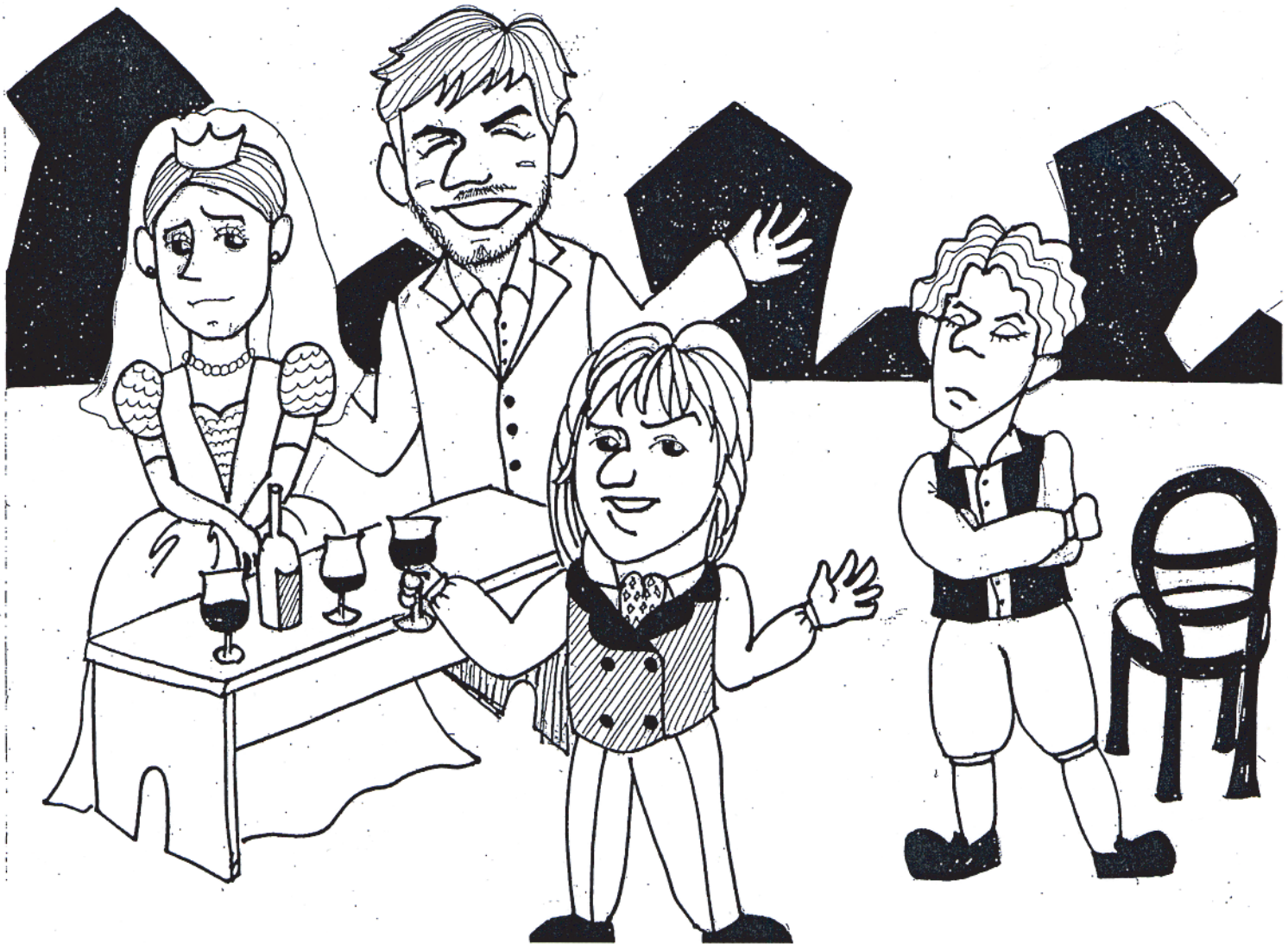


子ども音楽新聞 第6刊



オペラの公演も、あともう少し！そして小澤征爾さんのコンサートも
すぐにやってくる！！

コンサートに行く人も、行かない人も、
みんなに楽しんでいただきたい「子ども音楽新聞」！

今回から、新コーナーもできました！

さあ、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんと一緒に、
音楽のふ・し・ぎを体験してみませんか？

☆新コーナー★『ユウくんが行く!』☆

音楽の世界にはふ・し・ぎなことがいっぱい!!!

第一回は、コンサートホールのナゾを解くべく、

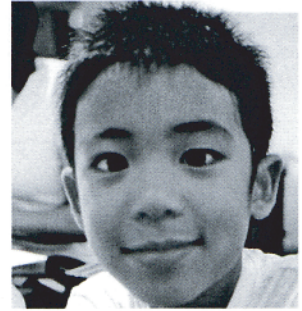
オペラ公演直前の Bunkamura オーチャードホールに行ってきました!

「ステージの後ろには、ひみつの階段や部屋がいっぱい!」

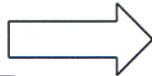
「コンサートのステージって、こ~んなにおおきいんだあ!」

ホールの中をぐるぐるぐるぐる・・・まるで巨大な迷路みたい。

ドン・ジョヴァンニになりきったユウくんは、大興奮!!



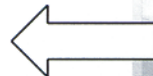
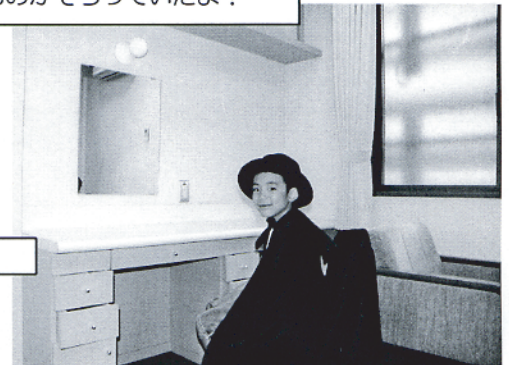
ホールに到着!ここは楽屋口!
演奏家の人たちが
出たり入ったりするところなんだって!
今日は特別に入らせてもらったよ!
それでは、おじゃましま〜す!



ここに誰がどの楽屋を使っているか、
書くんだよ!
だから、間違った部屋に入ることが
ないのだ!



楽屋です!ここはもしかして
大野和士さんの部屋かも!?
小さな部屋だけど、鏡もあるし、
いろんなものがそろっていたよ!



STAFF ONLY! (関係者以外立入禁止)!
ここからは特別な場合以外出たり入ったり
することができません!

ここに、STAFF ONLY
とかいてあります。



ステージの袖(ステージの横)には、
色々な機械がたくさん!テレビも発見した
よ。テレビにはホールの中の様子が写って
いたのだ!

ステージの袖へ移動!



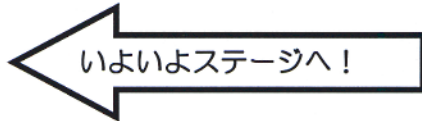
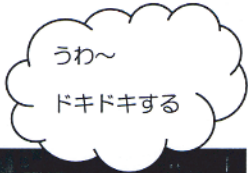
つづく



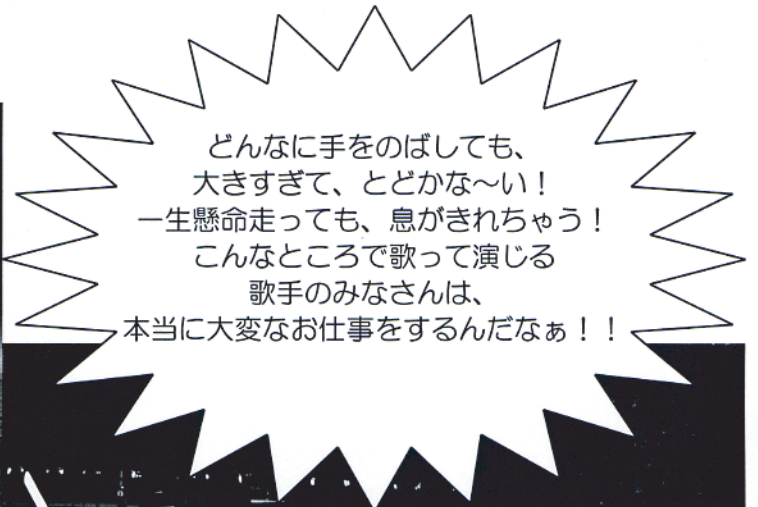
今日は舞台の点検をしていました。
照明を直しているお兄さんに
出会ったよ。とても暑そう！
無事にコンサートができるように、
点検してくれているんだね！
ごころさまです！



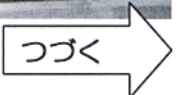
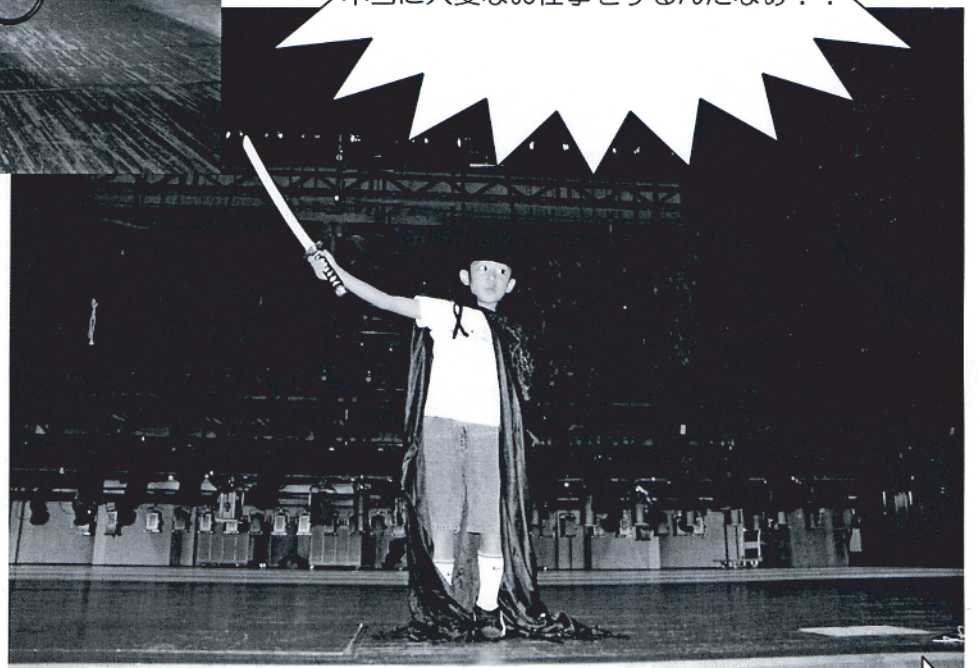
ここは、オーケストラ・ピットの入り口！
ここの階段をおりて、オーケストラのみなさん
はピットに入ります！今日は残念ながら
行くことはできませんでした。
当日見るのが楽しみ！



いよいよステージへ！



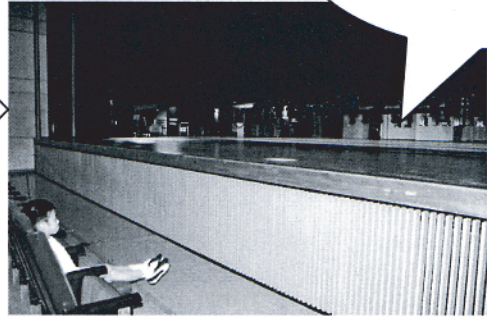
どんなに手をのばしても、
大きすぎて、とどかな〜い！
一生懸命走っても、息がきれちゃう！
こんなところで歌って演じる
歌手のみなさんは、
本当に大変なお仕事をするんだなあ！！



客席はこ～んなに広いよ！
ぼくをみつけられるかな？



一番前に座ってみたよ。
こんなにステージに
近いぞ！



ロビーに移動します！

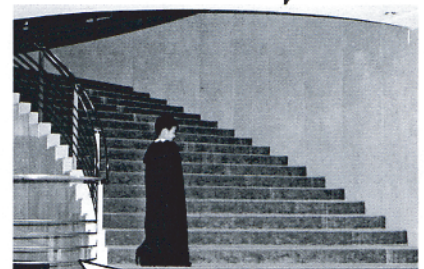


ホールのロビーや廊下にある
座席表です。
ここでどこに座るのかを
チェックします！



たくさんの荷物がある人は、必ずクロークに
あずけましょう！みんなが快適にコンサート
を楽しむためのルールです。

ここから上に行くと
2階席に行くよ！



ロビーも
こ～んなに広い



つづく



ここからみんなは
入場します！
今からウキウキする！



撮影終了！ユウくんお疲れ様でした！！

「つかれた～」と言。スタッフの一人が、
「おとなの仕事は大変でしょ？疲れるでしょ？」
するとすぐにユウくんは、こう切り返してくれました。

「おとなの買い物もつかれるんだよね・・・」

その後、「ラーメンがたべたい！」と
渋谷の町に消えていってしまいました。

ご協力頂きました Bunkamura オーチャードホールの皆様、
本当に有難うございました！



宿題しなきゃ・・・



THE END

豆知識：「楽屋」ってなあに？

昔の雅楽の演奏を行うための場所であった「楽之屋」が変化したもの。

「楽之屋」は、舞台後方の幕の内にあり、その内部は幕や屏風（びょうぶ）で仕切られ、片方では舞手が舞台衣装を着けたり、休憩する場所として使われていました。

その「楽之屋」が「楽屋」と略していわれるようになり、器楽演奏のための場から演奏者や指揮者の控え室として使われるようになったんだって。

10/26(水)・10/27(木)小澤征爾&NHK 交響楽団

曲目が変更になりました。

以前、予定しておりました「ガーシュウィン：ラプソディ・イン・ブルー」が「ガーシュウィン：ピアノ協奏曲 ヘ調 他」に変更になりました。演奏してくださるのは、ピアニストのマーカス・ロバーツさんひきいる、ベースのローランド・ゲリンさん、ドラムのジェイソン・マーサリスさんを新たに迎えた「マーカス・ロバーツ・トリオ」の皆さんです。今回は本場のジャズも聴くことができる予感…。



マーカス・ロバーツさんって どんな人？

フロリダ州、ジャクソンヴィルに生まれました。子どもの頃、おかあさんと一緒に歌ったゴスペルや教会音楽に親しみ、その経験が今も自分の音楽に通じているという

マーカス・ロバーツさんは、5才のとき視力を失いながらも、ピアノを独学にて習い始めます。

1982年より数々の賞に輝き、1998年には、ヘレン・ケラー賞を受賞。ジャズ・ピアニストとして大活躍中です。

マーカス・ロバーツ・トリオのみなさん！
マーカスさんは中央。

♪マーカス・ロバーツ・トリオって？♪

トリオ (Trio) というのは3人組という意味。マーカス・ロバーツ・トリオでは、ピアノ、ベース、ドラムの3人で演奏します。世界中のオーケストラと多く共演するなど、1年を通してツアーを行っているそうです。2002年夏には、タングルウッド音楽祭(アメリカ)で小澤征爾さん指揮のボストン交響楽団とガラコンサートをはじめ、新日本フィルハーモニー交響楽団、ベルリン・フィルハーモニーとも共演もしています。現在、2005年の1月にサンダンス映画祭の閉会式にてトリオとして演奏することと、曲を作曲してください～！とお願いされたトリオ用とジャズアンサンブル用の作品を完成させることにとりくんでいるそうです。



♪ガーシュウィン作曲の『ピアノ協奏曲 ヘ調』ってどんな曲？♪

クラシックコンサートでよく演奏されているこの曲。実はジャズの要素がたっぷりなのです！たとえば、1楽章の始めには、ティンパニーによってチャールストンのリズムがでてきたり、ジャズにかかせないトランペットの色っぽいメロディが2楽章でてきたり、3楽章では“ブルース”のメロディが、形を変えながらでてくるよ！この曲一曲で、ジャズを一度に楽しめる感じ。コンサート当日は、もしかして「マーカス・ロバーツ・トリオ」のいわゆる“アドリブ(即興演奏)”が聴けるかもしれないね！たのしみに待っててね！

～音楽小事典～

おしえて、タクト君！

「ジャズ」っていったいなあに？

「ジャズ (JAZZ)」という言葉はどこかで聞いたことがあるかな？ジャズが生まれたのは20世紀のはじめ、アメリカのルイジアナ州、ニューオーリンズだといわれているよ。

そう、残念ながらハリケーンによって多くの被害を受けたところだね。

このころ、ニューオーリンズには、色々な人種の人々が住んでいて、そこには様々な音楽や文化があったんだって。室内楽やオペラなどのヨーロッパの伝統音楽や、黒人霊歌また、ブラスバンドやアフリカの民俗音楽・・・。

そんな様々な音楽の要素が加わり、アメリカ独特の新しい音楽のスタイルが生まれたんだ。それが「ジャズ」なんだ！

カンザス・シティ、ニューヨークやシカゴにどんどん広がっていき、今では多くの有名なジャズの演奏家、たくさんのお名演奏もでてきたんだ！「ジャズ科」というコースも大学に入ったりするようになってきたよ。

特にジャズで必要なものは、“アドリブ”（即興演奏）だ。つまり、伴奏の和音やメロディにのせて、旋律を自分で考えて演奏する、というもの。

自由に演奏しているようでも、ちゃんとジャズ演奏の規則にそっています。使う楽器はなんでもOK！普通は、サクソ、トランペット、トロンボーン、ピアノ、ドラム、ギター、ベース（コントラバス）といったかんじ。演奏するときは、何人かで一緒に演奏することが多いみたい。大きいグループでは“ビッグ・バンド”といって、映画「スウィング・ガールズ」でもやっていたね！ジャズもクラシックと同じように歴史があります。モーツァルトからベートーヴェン、ブラームス、シューマン、ベルリオーズ、マーラー・・・。

数々の作曲家が新しいことにチャレンジし、クラシック音楽のスタイルを変えていったように、ジャズも生まれてから今まで、短い間だけど色々なスタイルが生み出されているよ。ぜひ、ジャズのCDやライブを聴きにいらしてみよう！

「ジャズ」は気軽に聴ける音楽のひとつです。

きっとクラシックとは違う発見があるはず！

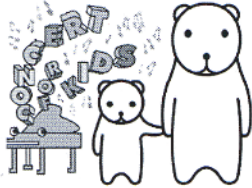


その他 曲目の変更に伴い当初予定していた公演時間(60分程度)を上回る可能性があります。あらかじめご了承下さい。

詳しい情報は下記へお問い合わせ下さい。

NHK プロモーション音楽祭事務局 電話03-3468-7736(平日10:00~17:00)

小学校に入っていないおともだちには、こんなコンサートもあるよ！！



Concert for KIDS

0才からのクラシック

10/ 9 (日) 北海道	たかすメロディーホール (11:00開演 0-5才)	【8/中旬発売】
10/22 (土) 千葉	アミュゼ柏 (11:00開演 0-5才)	【売り切れ間近】
10/30 (日) 栃木	栃木県総合文化センター (13:00開演 0-2才/15:00開演 3-5才)	【6/23発売】
11/ 5 (土) 東京	HAKUJU HALL (11:00開演 0-5才)	【9/20発売】
11/20 (日) 東京	豊洲文化センター (11:00開演 0-2才/14:00開演 3-5才)	【9/10発売】
11/26 (日) 東京	津田ホール 3才からのクラシック開催決定！(14:00開演 3-5才)	【9/23発売】

※こちらの公演は2才以下のお子さまはご入場できません。

■協賛：ソニー生命保険株式会社 ■2005年度助成：(社)私的録音補償金管理協会 (sarah)
上記公演に関するお問い合わせ：Sony Music Foundation 03-3261-9933

「0才まえのコンサート～ママのおなかは特等席～」

今回は、チェロとピアノのやさしいメロディーとおはなしでお贈りします。

♪10/9 (日) 福島 福島市音楽堂
♪11/5 (土) 東京 HAKUJU HALL

出演：古川 展生 (チェロ) / 安宅 薫 (ピアノ)



小・中・高校生はこちらの公演！！
大人気の Dream Seats！メンバーも大募集中！

～こどものためのプログラム～ -Dance from the world-
アラン・ギルバート(指揮)/北ドイツ放送交響楽団/竹澤恭子(ヴァイオリン)

2005年12月11日(日) NHKホール(東京・渋谷)
午後3時開演(午後2時開場)



《チケット料金のご案内》

☆小・中学生：S席・A席＝1,500円☆

☆高校生・同伴者：S席＝9,000円 A席＝7,000円(定価)☆

【ご注意】

※S席、A席のみの販売となります。他の席種をご希望のお客様は直接NHKプロモーション(03-3468-7736)にお問合せ下さい。

※お座席の指定はできません。お席が離れる場合がございます。あらかじめご了承下さい。

※おとなのみのお申込は受付することができません。※未就学児のお子さまはご入場出来ません。ご了承下さい。

※公演時間は60分程度を予定しております。

※未就学児のご入場はできません。ご了承下さい。

発行：財団法人ソニー音楽芸術振興会 (Sony Music Foundation)

〒102-0076 東京都千代田区五番町5-1 JS市ヶ谷ビル7F

TEL:03-3261-9933 FAX:03-3261-9898 Email: smf@sonymusic.co.jp

URL: <http://www.smf.or.jp>

発行人：齋藤成人 (SMF)

編集・撮影：岩田美紀 / 松岡久美子 (SMF) 絵：松岡久美子

*当財団では、個人情報保護法に基づき、個人情報について厳重な管理をしております。ダイレクトメール等のご案内が不要な方は、当財団までお電話にてご連絡下さい。電話：03-3261-9933